

令和5年12月21日
保健福祉政策部国保・年金課

令和6・7年度後期高齢者医療保険料の検討状況について

1 主旨

後期高齢者医療制度では、被保険者の一部負担金を除いた医療給付費等のうち、約10パーセント(後期高齢者負担率)を保険料でまかなうこととなっている。

保険料は、被保険者数や医療費の伸び等を勘案し、2年ごとに見直される。東京都後期高齢者医療広域連合(以下、「都広域連合」という。)において、令和6・7年度保険料の検討が進められ、算定案が示されたので報告する。

2 保険料率改定の要因

(1) 保険料率を算出する主な基礎数値

① 被保険者数(東京都)

令和6年度 176万人(前年度比3.17%増)

令和7年度 179.3万人(前年度比1.88%増)

② 医療給付費(東京都)

令和6年度 1兆5,735億円(前年度比4.5%増)

(1人あたり89万4,022円(前年度比1.29%増))

令和7年度 1兆6,129億円(前年度比2.51%増)

(1人あたり89万9,571円(前年度比0.62%増))

③ 後期高齢者負担率(全国)

令和6・7年度 12.70%(前回比0.98ポイント増)

④ 賦課限度額(全国)

令和6年度 73万円 令和7年度 80万円

※令和4・5年度の賦課限度額 66万円

(2) 都広域連合独自の特別対策等継続の有無

保険料額の急激な上昇を避けるため、本来は保険料に算定すべき葬祭費、審査支払手数料、財政安定化基金拠出金、保険料未収金補填分の4項目について、都広域連合を構成する62区市町村では、独自に一般財源を投入する特別対策等を引き続き実施する。

算定案では、都広域連合の合計で特別対策は約215億円となっており、低所得者に対する所得割額独自軽減対策の約5億円とあわせて、約220億円となっている。

3 算定案

| | 令和4・5年度 | 令和6・7年度 |
|-----------------------|----------|---|
| 均等割額 | 46,400円 | 47,700円(1,300円(2.8%)増) |
| 所得割率 | 9.49% | 令和6年度：旧ただし書き所得58万円以下：9.74% 58万円超：10.00% 令和7年度：10.00% |
| 賦課限度額 | 66万円 | 令和6年度：73万円 令和7年度：80万円 |
| 1人あたり年間平均 保険料額(都内) | 104,842円 | 令和6年度：112,633円(7,791円(7.4%)増) 令和7年度：114,895円(10,053円(9.6%)増) |

※所得割率及び賦課限度額について、激変緩和措置あり。

【保険料額比較(公的年金収入のみの単身者で試算)】

単位:円

| 公的年金 収入額 | 制度改正 影響 | 軽減割合 | | 保険料額 (年額) | | | | | | | 全被保険者 との割合 (総所得から 概算) |
|-------------|------------|------|-------|-----------|---------|----------|-------|---------|----------|-------|--------------------------------|
| | | 均等割額 | 所得割率 | R5年度 | R6年度 | R5年度との増減 | | R7年度 | R5年度との増減 | | |
| | | | | | | 増減額 | 増減率 | | 増減額 | 増減率 | |
| 80万円 | × | 7割軽減 | — | 13,900 | 14,300 | 400 | 2.9% | 14,300 | 400 | 2.9% | 54.48% |
| 153万円 | × | 7割軽減 | — | 13,900 | 14,300 | 400 | 2.9% | 14,300 | 400 | 2.9% | |
| 168万円 | △ | 7割軽減 | 50%軽減 | 21,000 | 21,600 | 600 | 2.9% | 21,800 | 800 | 3.8% | 11.20% |
| 173万円 | △ | 5割軽減 | 25%軽減 | 37,400 | 38,400 | 1,000 | 2.7% | 38,800 | 1,400 | 3.7% | |
| 196万円 | △ | 5割軽減 | 軽減なし | 64,000 | 65,700 | 1,700 | 2.7% | 66,800 | 2,800 | 4.4% | |
| 211万円 | △ | 2割軽減 | 軽減なし | 92,100 | 94,600 | 2,500 | 2.7% | 96,100 | 4,000 | 4.3% | |
| 219万円 | ○ | 2割軽減 | 軽減なし | 99,700 | 104,100 | 4,400 | 4.4% | 104,100 | 4,400 | 4.4% | 31.18% |
| 240万円 | ○ | 軽減なし | 軽減なし | 128,900 | 134,700 | 5,800 | 4.5% | 134,700 | 5,800 | 4.5% | |
| 400万円 | ○ | 軽減なし | 軽減なし | 264,100 | 277,200 | 13,100 | 5.0% | 277,200 | 13,100 | 5.0% | |
| 880万円 | ○ | 軽減なし | 軽減なし | 660,000 | 695,200 | 35,200 | 5.3% | 695,200 | 35,200 | 5.3% | 0.14% |
| 917万円 | ○ | 軽減なし | 軽減なし | 660,000 | 730,000 | 70,000 | 10.6% | 730,300 | 70,300 | 10.7% | 0.31% |
| 991万円 | ○ | 軽減なし | 軽減なし | 660,000 | 730,000 | 70,000 | 10.6% | 800,000 | 140,000 | 21.2% | 2.68% |

※R6年度及びR7年度の所得割率の軽減割合はR5年度と同様と見込む。

(出典：都広域連合作成資料)

4 今後想定される保険料率の増減理由

- (1) 後期高齢者負担率の確定
- (2) 全国平均所得額の提示による所得係数の確定
- (3) 均等割額の軽減判定所得の確定
- (4) 出産育児一時金の財政規模の確定

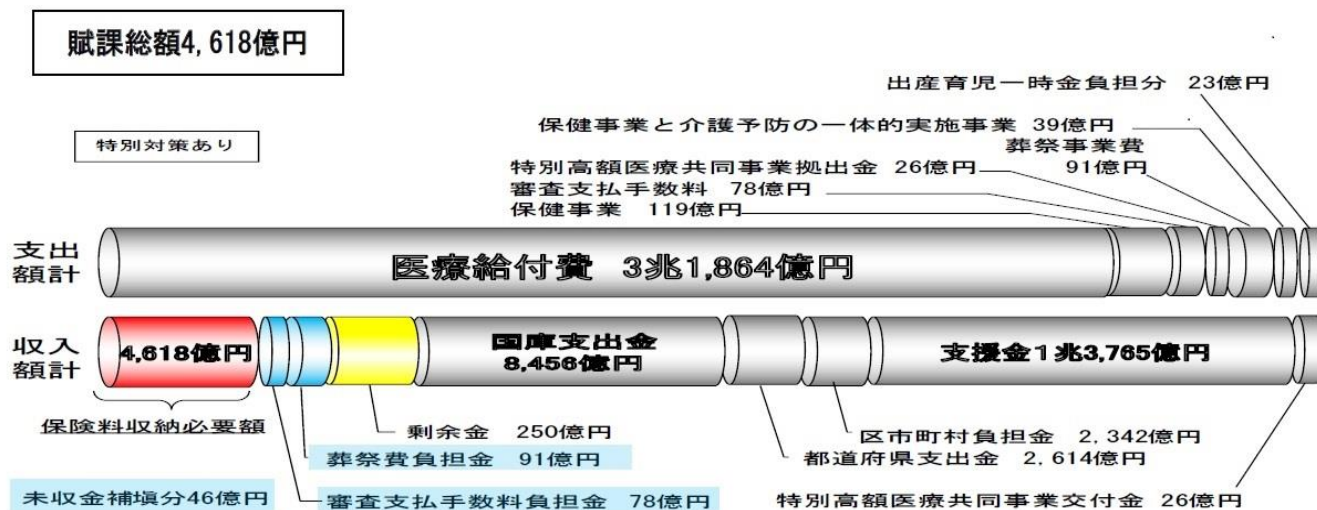
いずれも国から12月以降に通知され、都広域連合で算定案に反映し最終案を作成予定

5 今後のスケジュール (予定)

- | | | |
|------|----|---|
| 令和6年 | 1月 | 都広域連合協議会で最終案協議 区長会に都広域連合より最終案報告 都広域連合議会で「東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例」一部改正 |
| | 2月 | 各区市町村議会に「東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議」上程(第1回定例会) |
| | 4月 | 規約変更の公表 |

【参 考】

●都広域連合の令和6・7年度保険料の算定案における収支内訳



(出典：都広域連合作成資料)

●都広域連合議会

定 数 31人 (区17人、市12人、町村2人)

選任方法 関係区市町村議会議員から関係区市町村議会による間接選挙 (任期2年)

●都広域連合協議会

都広域連合の運営に関して、必要な調整及び協議を図るための関係区市町村の協議組織

構成員 区長会代表6名、市長会代表6名、町村会代表2名、広域連合長1名、副広域連合長3名 (副広域連合長のうち関係区市町村長から選任される者)

●区の75歳以上人口推計

令和5年7月時点の将来人口推計 (外国人を含む)

| | | |
|--------------|----------|--------------|
| 令和5年 (2023年) | 102,890人 | ※1月1日時点の実績 |
| 令和6年 (2024年) | 105,987人 | 前年比 3,097人増加 |
| 令和7年 (2025年) | 108,864人 | 前年比 2,877人増加 |
| 令和8年 (2026年) | 110,214人 | 前年比 1,349人増加 |
| 令和9年 (2027年) | 110,757人 | 前年比 543人増加 |

※区の後期高齢者医療被保険者数 (令和5年10月末)・・・103,739人